

ソーシャルメディア投稿コンテンツ事例 (Twitter仕様を活用・企業コラボ・イベント想起編)

Tribal Media House, Inc.



■ 連結ツイート投稿事例



自社のツイートに対して、ポッキー画像をユーザーが「リプライ」返信することによって、タイムライン上で、長いポッキーとなるよう演出している連結ツイート事例です。ユーザーに参加してもらうことで、コンテンツが完成する施策となっています。

今年の漢字にちなんだコンテンツです。自社ツイートに、「リプライ」してコンテンツを表示することで、シリーズ展開してみえます。同じコンテンツで、複数展開できるので、コンテンツを組みやすいです。スタッフ紹介や店舗紹介に展開しやすいコンテンツを考えましょう。

アカウント名	pockypretz11
投稿URL	https://twitter.com/pockypretz11/status/796838865818353664

アカウント名	ASICS Japan
投稿URL	https://twitter.com/ASICS_JP/status/811043543405842432

■ 企業コラボが実現しているTwitter投稿事例



Twitter上で、他社さんのツイートに対して、RTと自社のツイートを連結させるコンテンツです。いい肉の日にからめて、他業界とのコラボが実現した投稿となっています。食事の相性も抜群の組み合わせが実現しています。画像の配置等の調整をし、見え方を工夫していきますよ。

アサヒビールさまとセガさまのコラボ。毎年開催するエンゲージマネージャーお客様感謝会にて運用担当者同士で、交流した結果、こちらのコンテンツが生まれました。ターゲットが合致している点や異業種コラボということで、RTが伸びていました。

アカウント名	アサヒビール ASAHIBEER
投稿URL	https://twitter.com/asahibeer_jp/status/803506047176491008 https://twitter.com/asahibeer_jp/status/803506873571758080

アカウント名	アサヒビール ASAHIBEER
投稿URL	https://twitter.com/asahibeer_jp/status/715554266409119745/photo/1

■ 固有名詞を活用しないで象徴で伝える投稿事例



投稿上、「オリンピック」の sponsor であるが、審査に時間がかかるため、固有名詞とロゴを使用しない方向で、スタッフが走っている姿を投稿し、象徴となるシーンの再現にいたっています。タイムラインへの画像は、一枚にして視認性を確保しながら、コメント欄に、関連画像を投稿する方法をとっています。

アカウント名	JAPAN AIRLINES (JAL)
投稿URL	https://www.facebook.com/jal.japan/photos/a.196941460338526.47998.195152223850783/1235359249830070/?type=3&theater



ユーザーからのツッコミコメントが入り、それに対して、ユーザーから共感のいいね！がついていました。ユーザーごとでも共感しあうコンテンツで投稿自体が盛り上がっていました。

アカウント名	JAPAN AIRLINES (JAL)
投稿URL	https://www.facebook.com/jal.japan/photos/a.196941460338526.47998.195152223850783/1328464287186232/?type=3&theater